

新潟市西海岸保安林・都市計画道路建設計画に関する 要望書

日野鳥発 72 号

平成 16 年 1 月 24 日

新潟市長 篠田 昭 様

東京都渋谷区初台 1-47-1

財団法人 日本野鳥の会

会長 小杉 隆

新潟市西海岸保安林の保全に伴う都市計画道路建設の見直しについて

(要望)

日頃より、環境行政に尽力されていることに深く敬意を表します。

本会は、「自然にあるがままの野鳥に接して楽しむ機会を設け、また野鳥に関する科学的な知識及びその適正な保護思想を普及することにより、国民の間に自然尊重の精神を培い、もって人間性豊かな社会の発展に資すること」との目的を理念とする公益法人であります。現在、全国に約 4 万 9 千人の会員と 88 の支部を擁し、この理念に沿ってさまざまな活動を展開しております。

さて、新潟市が西海岸保安林を開削し、都市計画道路を建設する事業案を発表されたことに関し、地元の住民および自然保護団体から、その見直しを求める運動が展開されているという報告が、本会新潟県支部よりなされました。支部からの資料によると、当該地は鳥類の生息地として、また渡りや移動の中継地として、極めて重要な場所であることが判明しております。当該林の分断化は、鳥類の生息地としての価値を著しく低下させることが容易に予想されます。したがって、当該海岸保安林は分断縮小すべきではないと考えます。

これらの観点から、下記内容について要望いたしますので、よろしくご検討お願いいたします。

記

- 1) 新潟市小張木関屋線都市計画道路建設計画について、野鳥の生息地の保護、市民が自然とふれあう場の確保の観点から、地元市民団体を交えた公開の話し合いの場を設け、計画の見直しを協議してください。
- 2) 計画の見直しにあたっては、当該海岸保安林の分断縮小を行なわない方向で検討を行なってください。

以上